

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る効果検証

No.	事業名	担当課	事業の概要	総事業費	うち 交付額	事業始期	事業終期	効果検証		効果検証（他已検証）
								事業実績	事業効果	
1	市内消費活性化事業	商工観光プロ モーション課	コロナ禍において、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して支援を行う為に、市内店舗で消費できるクーポン券を基準日において葛城市に住民票を置く全住民に配布する。 地域クーポン券の引換券を全市民に郵送し、市内数力所でクーポン券と引き換える。市内の市内登録店舗にて消費する。	123,649,831	123,649,831 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金：109,567,757円 ・物価高騰対応重点支援地方交付金：14,127,074円	R5.11.16	R6.3.25	・配布金額：3,000円（500円×6枚） ・使用期間：R5.12.11～R6.2.29 ・参加店舗数：126店舗 ・対象者数：37,883人 ・発行枚数：227,298枚（a） ・使用枚数：216,782枚（b） ・使用金額：108,391,000円 ・使用率：95.37％（b／a）	電気、ガスなどのエネルギーや食料品の価格高騰の影響を受けている市民生活の支援と市内事業者の影響の緩和、地域消費を目的として、市民による、市内事業所での消費に限定したクーポン券を配布し、市内の消費を活性化させる効果があった。	事業は適切であった
2	公共交通無償化事業	企画政策課	コロナ禍や物価高による家計の負担増、経済活動への悪影響が生じている状況において、地域公共交通利用者への負担軽減及び利用促進による運行事業者支援及び地域活動活性化を図る。（R5年4月1日～R6年3月31日の1年間を無償とする。） 葛城市公共バス及び予約型乗合タクシーの運賃に係る費用を補填する。	1,480,243	1,480,243	R5.4.1	R6.2.29	コミュニティバス等利用者数（1日平均） 令和5年度 137.41人 ※令和4年度 121.77人	コミュニティバス等の利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少していたが、運賃無償化による利用者負担軽減により、日常生活での利用等の移動手段として活用されたことにより、利用者数が増加している	事業は適切であった
3	学校給食費を据え置く事業	学校教育課 給食センター	コロナ渦や物価高騰の状況下において給食材料費が高騰するなか、学校給食の質を維持するとともに値上げ分に相当する費用に交付金を充当し、保護者負担の軽減を図る。	34,942,903	27,572,703 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金：5,000,000円 ・物価高騰対応重点支援地方交付金：22,572,703円	R5.4.1	R6.3.29	物価高騰分5,000,000円を原材料費に充当。	物価高騰に伴う原材料費の増額分について、保護者に負担を求めないことで、子育て世帯に対する経済的負担の軽減に寄与した。	事業は適切であった
4	保育対策事業費補助金	こども未来課	保育所において、職員が新型コロナウイルス感染症が発生した時に保育を継続的に実施してくるために必要となる経費（勤務時間外に消毒作業等を行った時間外手当や休日勤務手当、通常想定していない感染症対策に関する業務の実施に伴う手当）やマスクや消毒液、感染防止用の備品購入に係る費用を助成することにより、新型コロナウイルス感染症の発生時においても事業を継続的に提供する。	67,298	33,649	R5.4.1	R6.3.31	葛城市立保育所・こども園の新型コロナウイルス感染症対策に係る消毒液、手袋等の消耗品の購入費	保育施設の定期的な消毒による感染症対策により、クラスターは発生せず、保育施設内での感染防止に寄与した。	事業は適切であった
5	教育支援体制整備事業費交付金	学校教育課	幼稚園教育活動において、マスクや消毒液、感染防止用の備品購入に係る費用に交付金を充当し、新型コロナウイルス感染症の対策を講じること、安心できる利用環境を整備する。	339,971	172,971	R5.4.1	R6.3.31	市内幼稚園に感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備し、手指消毒液やハンドソープ、歯科検診用ブラミラーや使い捨て手袋などを購入した。	幼稚園に消毒液等の感染症予防対策用品を購入、配置することにより園内での感染防止に寄与した。	事業は適切であった
6	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	学校教育活動において、マスクや消毒液、感染防止用の備品購入に係る費用に交付金を充当し、新型コロナウイルス感染症の対策を講じること、安心できる利用環境を整備する。	2,313,783	1,250,783	R5.4.1	R6.3.31	市内小中学校に感染症対策に必要な保健衛生用品等を整備し、手指消毒液やハンドソープ、歯科検診用ブラミラーや使い捨て手袋などを購入した。	小中学校に消毒液等の感染症予防対策用品を購入、配置することにより学校内での感染防止に寄与した。	事業は適切であった
7	GIGAスクール構想への支援事業 （ICT支援業務委託・ICT支援員の配置）	学校教育課	「GIGAスクール構想」による小・中学生1人1台端末の整備に伴い、ICT機器関連について、専門的な知識がより一層求められることにより、小・中学校で使用するICT関連機器全般に関わる、教員への支援業務を委託するもの。「ICT支援員」は小・中学校に常駐し、タブレット等端末やプログラミング教材の操作方法のサポート、或いは活用方法の提案、そして、授業前・授業中・授業後それぞれにおける教員への支援、教員研修等々を行い、ICT教育について全般的なサポートを行うことにより、教職員の負担軽減を図る。	13,749,054	2,605,597	R5.4.1	R6.3.31	小・中学校で使用するICT関連機器全般に関して、ICT支援員1名が小中学校7校に1日1校ずつ巡回することで、授業へのICT機器の効果的な活用方法の提案、教員への支援、また教員研修等、ICT教育について全般的なサポートを行った。	新型コロナウイルス感染症により長期欠席の際に、タブレット端末を家庭へ持ち帰ってオンライン学習を行う方法などを支援することにより、子どもたちの学びの保障につながった。	事業は適切であった